

# 内外の化学繊維生産動向

— 2011年 —  
(第2版)

2012年1月25日

日本化学繊維協会

本資料の2011年の数値は、至近の発表値をもとに日本化学繊維協会  
で推定したものです。

## 1. 世界の繊維生産

表-1 世界の主要繊維の生産

(1000ト)

	全繊維	化学繊維		綿	羊毛	絹	
		合繊	セルロス				
2005	60,204	34,455	31,863	2,593	24,398	1,218	133
2006	65,820	37,805	35,103	2,703	26,635	1,234	145
2007	68,799	41,392	38,241	3,150	26,030	1,221	156
2008	64,254	39,515	36,742	2,773	23,400	1,191	148
2009	63,231	40,089	37,092	2,997	21,896	1,104	141
2010	71,075	44,943	41,756	3,187	24,872	1,119	141
2011	76,712	48,660	45,140	3,520	26,788	1,123	141
11/10(%)	7.9	8.3	8.1	10.5	7.7	0.3	0.0
構成比(%)	100.0	63.4	58.8	4.6	34.9	1.5	0.2

日本化学繊維協会推定

綿、羊毛は季節年度

- 2011年の世界の主要繊維生産（推定）は前年比8%増の7,671万トと史上最高を記録した。化学繊維および綿は共に8%増と高い伸びを示した。
- 化学繊維は前年比8%増の4,866万トと過去最高となった。うち合繊（オレフィン繊維を除く）は8%増の4,514万ト。セルロース繊維（アセテートトウを除く）は11%増の352万ト。
- 化学繊維の生産は、2009年以降3年連続で増加した。ただし繊維全体に占める化合繊のシェアは63%と前年比横ばい。
- 天然繊維は、綿が前年度の綿花価格高騰を受けて作付面積が拡大し、8%増の2,679万トと2年連続の増加。主なけん引役は中国とインドで、このほかパキスタン、オーストラリア、アフリカ、トルコも大幅に増加したが、米国は干ばつ被害により減少した。羊毛は、最大生産国のオーストラリアが回復の兆しを見せ、世界全体では微増となる見通し。

図-1 世界の主要繊維の生産

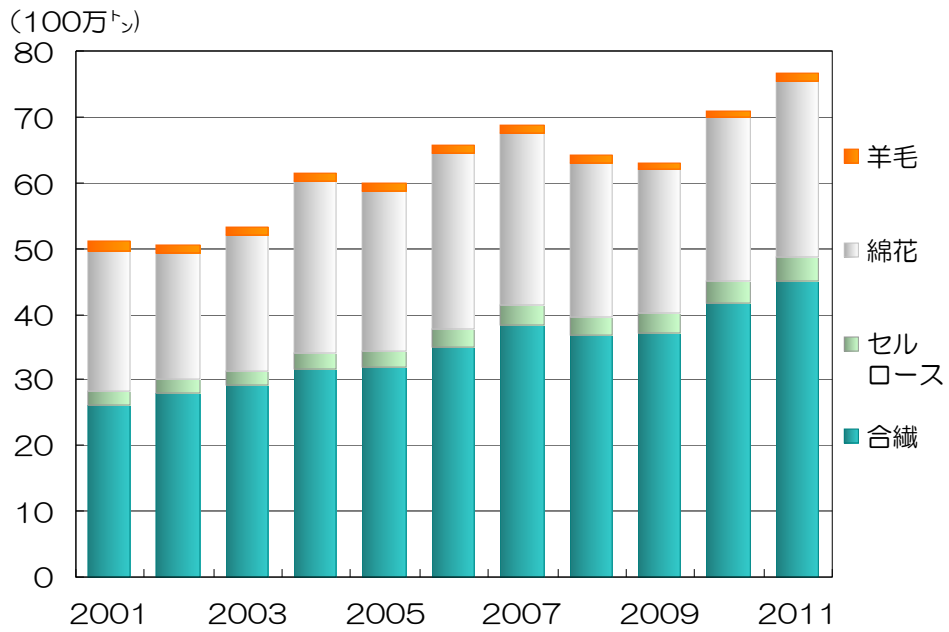
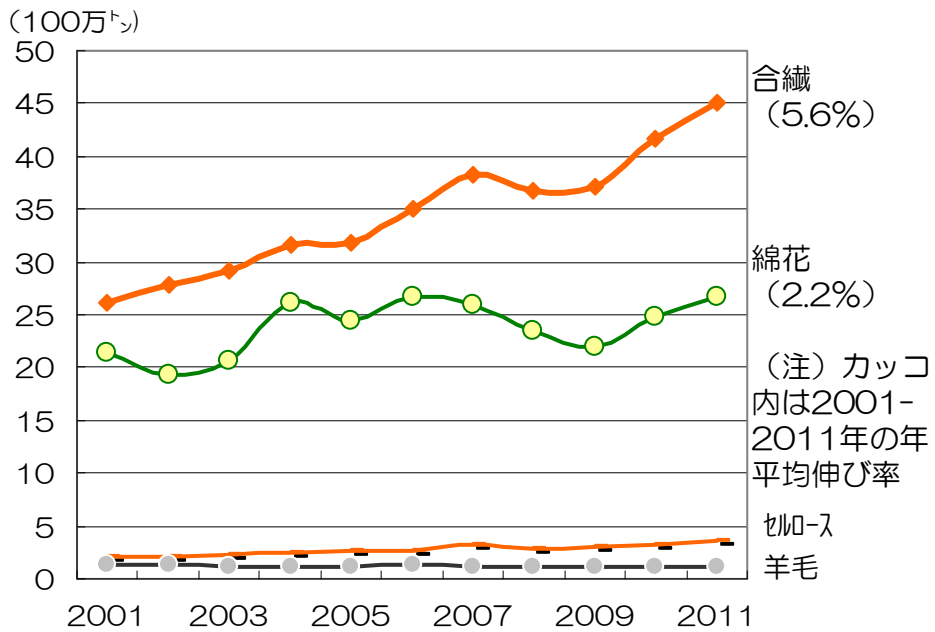


図-2 世界の主要繊維の生産推移



## 2. 世界の化学繊維生産

- 主要国・地域別に化学繊維生産をみると、中国は内需の好調から前年比14%増と大幅に増加し、「独り勝ち」が続いている。また日本が3%増、西欧が1%増と微増であったが、その他の主要国・地域は減少した。

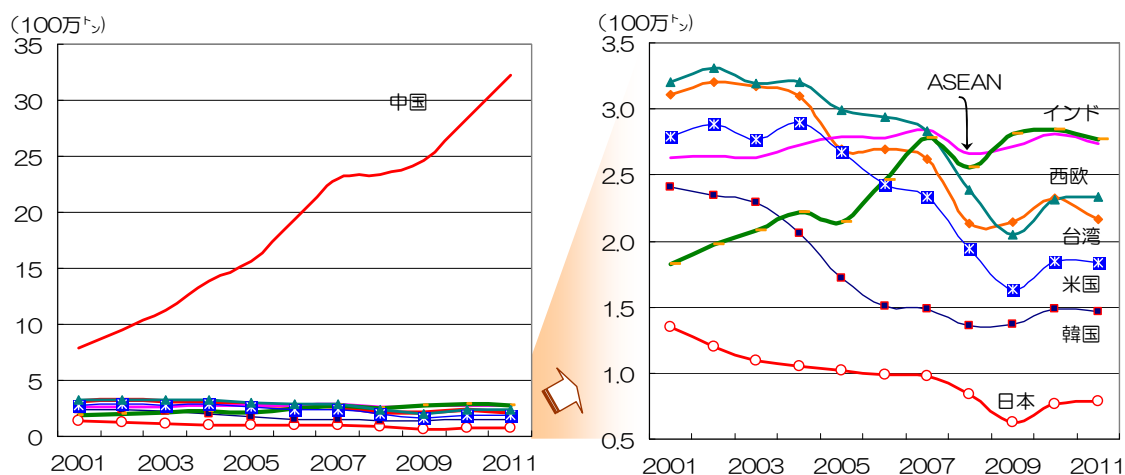
表-2 主要国・地域の化学繊維生産(2011年)

地域	ポリエステル		ナイロン S+F	アクリル S	合繊維 計	セルロース 計	化繊維 計	構成比 (%)
	フィラメント	スチープル						
日本	181 -4.0	155 -2.0	96 1.8	150 5.7	726 3.4	63 0.4	789 3.2	1.6
韓国	757 1.3	526 -1.1	134 -1.1	47 -3.7	1,463 -1.2	5 -1.9	1,469 -1.2	3.0
台湾	1,058 -5.1	563 -6.5	340 -12.1	97 -1.1	2,076 -6.6	84 -13.1	2,160 -6.9	4.4
中国	18,439 16.5	9,310 13.5	1,573 8.1	692 3.5	30,159 13.6	2,070 16.2	32,229 13.8	66.2
ASEAN	1,290 -0.9	851 -5.8	85 -5.8	93 -0.4	2,318 -2.9	424 1.1	2,742 -2.3	5.6
インド	1,368 -5.4	860 -2.9	95 -2.2	76 9.0	2,400 -4.0	372 9.8	2,772 -2.3	5.7
米国	519 5.1	582 -2.1	598 -2.9	0 0.0	1,809 -0.7	25 2.6	1,834 -0.7	3.8
西欧	447 4.6	483 1.6	363 -5.7	580 1.5	1,900 -0.3	432 5.6	2,332 0.7	4.8
世界計	24,565 11.6	14,382 7.8	3,705 0.2	2,041 2.6	45,140 8.1	3,520 10.5	48,660 8.3	100.0

(注) 1.上段は生産量、下段は前年比(%) 2.推定を含む  
3.オレフィン繊維、アセテートトウを含まない

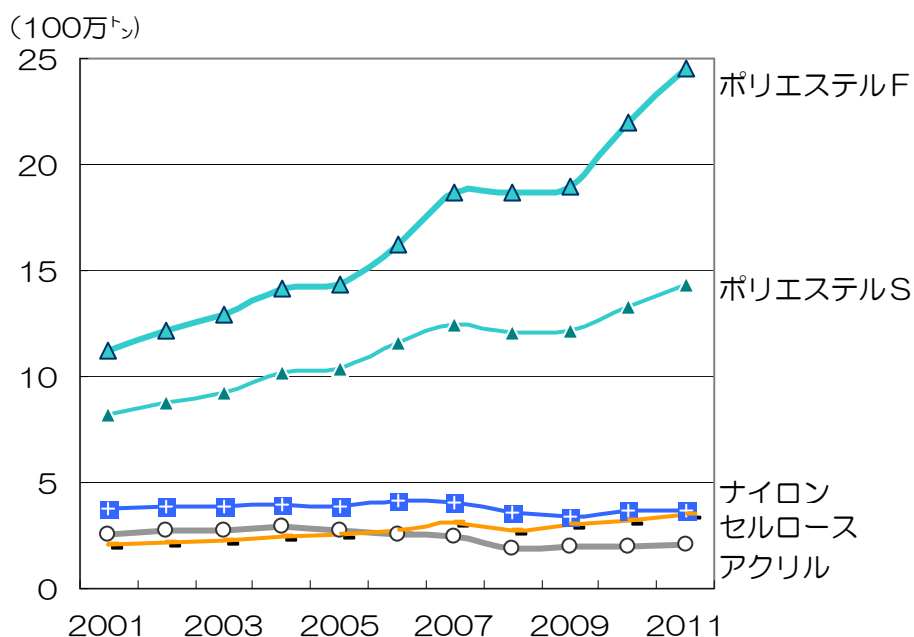
- 中国は14%増の3,220万トと初めて3,000万トを上回った。世界生産に占める割合は前年の63%から2011年は66%に拡大、一極集中がさらに進行した。

図-3 世界の主要国・地域の化繊生産



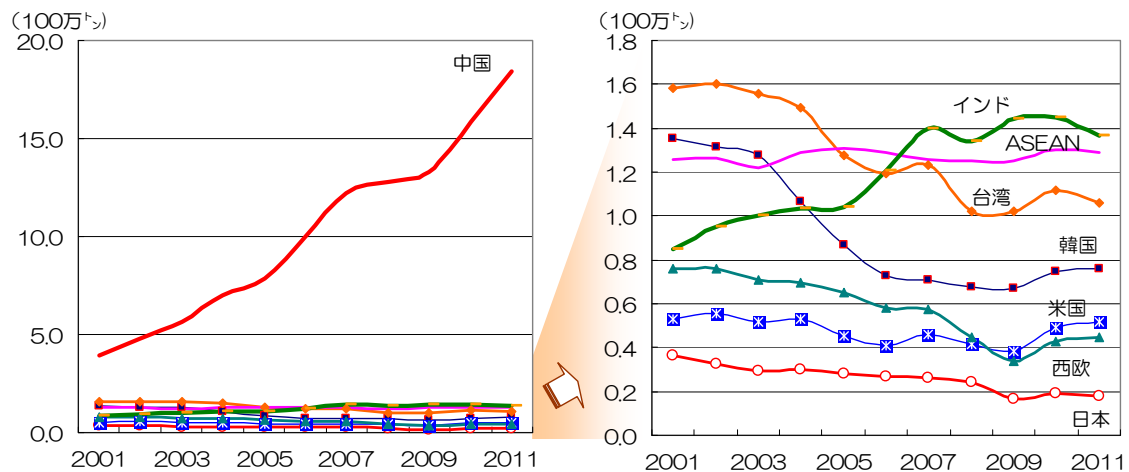
- 中国のほかに前年を上回った主要国・地域は、日本がアクリルSの好調により3%増。西欧は全体で1%増と微増だが、ナイロンFおよびポリエステルFの産業用が好調に推移した。
- 一方、台湾は輸出減の影響で7%減と3年ぶりの前年割れ。ASEANはタイの洪水被害もあり全体で2%減だが、ベトナムでポリエステルの生産が増加するなど、国別で状況は異なる。韓国は1%減。米国はカーペット用ポリエステルFが好調だが、衣料用がナイロンF、ポリエステルF共に不振で1%減となった。
- 主要品種別では、綿花価格高騰の影響で、ポリエステルのほかセルロース繊維（レーヨン）が高い伸びとなったのが特徴的であった。
- ポリエステルは、フィラメントが前年比12%増の2,457万ト、ステープルが8%増の1,438万トであった。フィラメント、ステープルをあわせたポリエステルの化繊生産に占める割合は80%と2010年から微増。
- ナイロンは0.2%増の371万トとほぼ横ばい。フィラメントは0.4%増、ステープルは4%減。
- アクリルSは3%増の204万ト。中国（4%増）、西欧（2%増）、日本（6%増）、インド（9%増）が増加した。
- セルロース繊維は綿花価格高騰によって綿花代替需要が拡大したともあり、11%増の352万ト。中国では大規模な増設もあって16%増の207万ト。

図-4 世界の主要化繊品種の生産推移



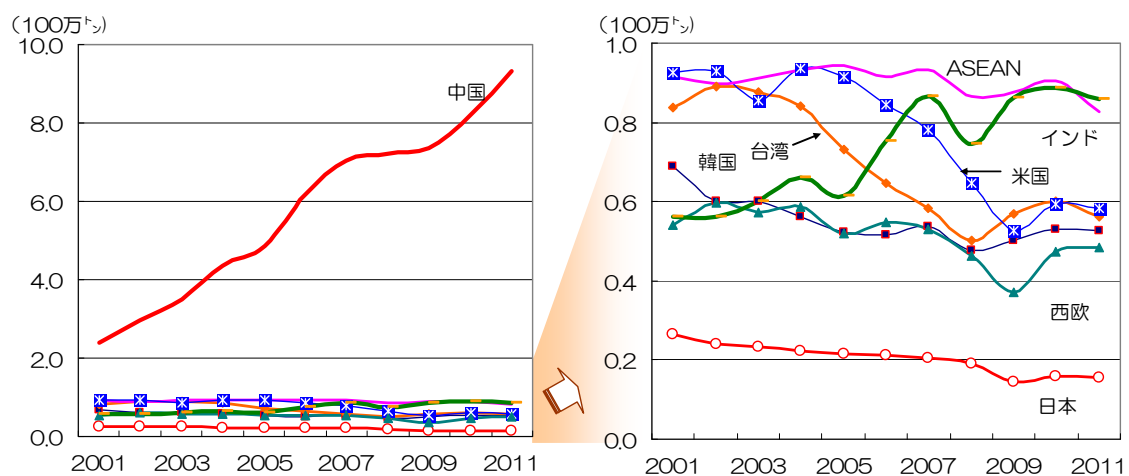
- ポリエステルF：前年比12%増の2,457万トと過去最高。世界の75%を生産する中国が17%増と、大幅増が継続した。西欧は産業用、米国はカーペット用が好調で5%前後の増加。韓国は1%増。一方、インドは新增設による仮需の在庫顕在化で5%減となったほか、日本（4%減）、台湾（5%減）、ASEAN（1%減）が減少した。

図-5 世界の主要地域別ポリエステルF生産



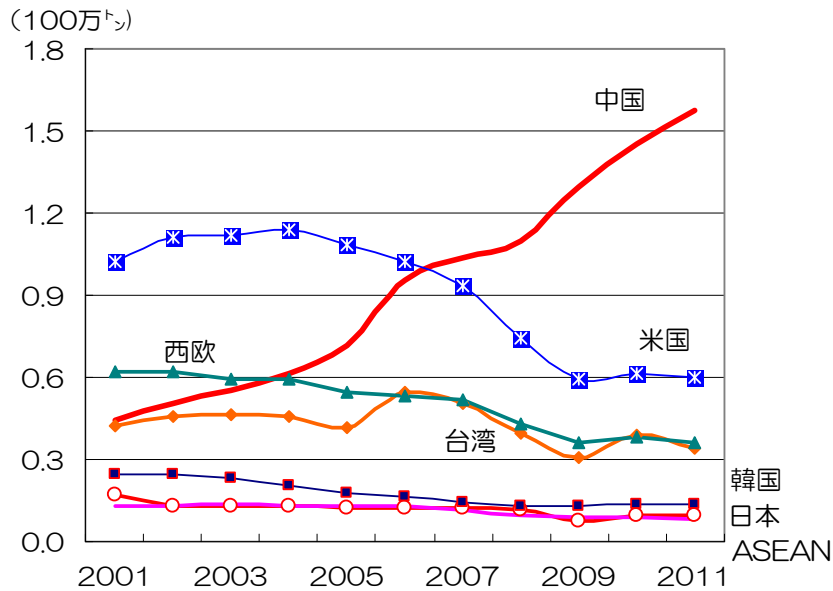
- ポリエステルS：前年比8%増の1,440万ト。中国が14%増と3年連続の2桁増だが、西欧（2%増）のほかは、インド3%減、ASEAN6%減、台湾7%減、米国2%減など多くの主要国・地域で減少した。

図-6 世界の主要地域別ポリエステルS生産



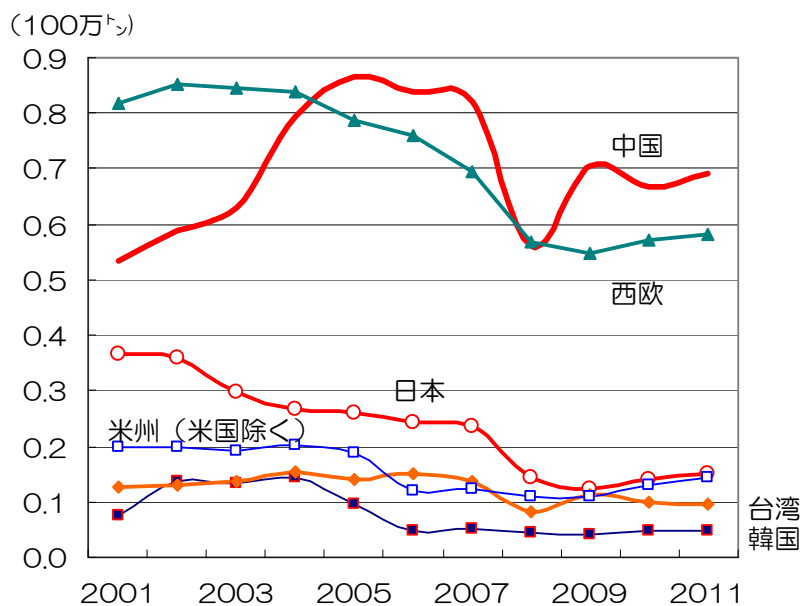
- ナイロン：前年比横ばい（0.2%増）の371万ト。中国は8%増（157万ト）と増加したが、米国（3%減）、西欧（6%減）、台湾（12%減）など主要国・地域はいずれも減少した。米国はカーペット用ナイロンFのポリエステル代替が進行した。

図-7 世界の主要地域別ナイロン生産



- アクリルS：前年比3%増の204万ト。中国が4%増と増加に転じ、西欧が2%増と2年連続で増加。日本も6%増。

図-8 世界の主要地域別アクリルS生産



### 3. 日本の化学繊維生産

- 2011年の日本の化学繊維生産は前年比2%増の102万ト(オレフィン、アセテートトウを含む)と、100万ト台に回復した。内訳では合繊が3%増、セルロース繊維が1%減となった。

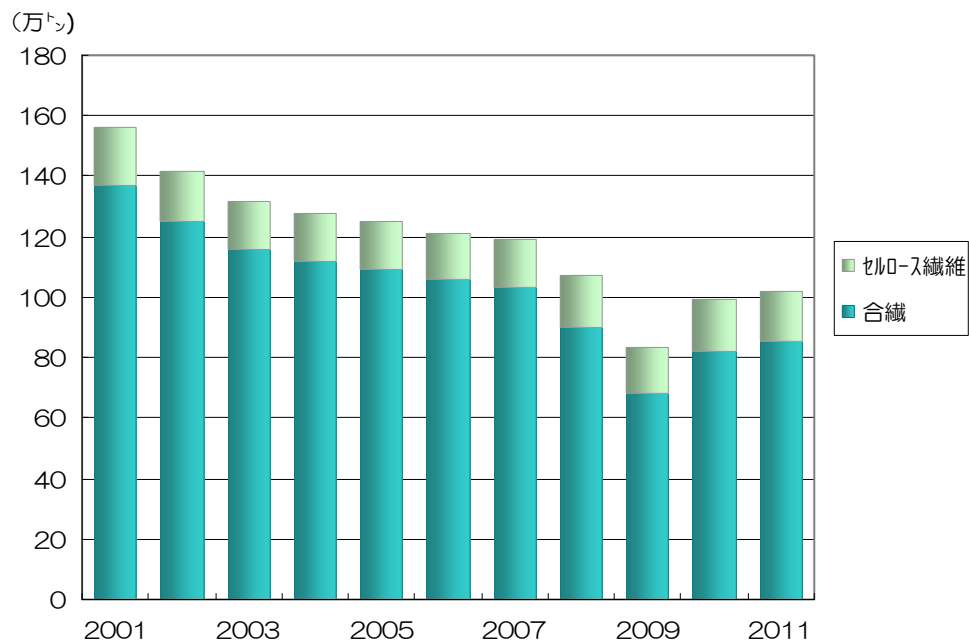
表-3 日本の主要化学繊維の生産

	2008	2009	2010	2011	11/10%
	(1000ト)				
ポリエステルF	243.6	163.0	188.5	180.8	-4.1
ポリエステルS	191.0	146.2	158.4	157.1	-0.8
ナイロンF	112.0	73.6	93.0	95.0	2.2
アクリルS	145.0	123.6	141.5	151.6	7.1
ポリプロピレン	125.3	107.3	114.5	120.7	5.4
合繊計	902.0	682.3	829.4	854.5	3.0
レーヨンS	39.3	35.5	33.8	...	...
アセテート	113.6	104.3	116.5	...	...
セルロース計	168.9	152.5	168.7	167.0	-1.0
化繊計	1,070.9	834.8	998.0	1,021.4	2.3

(出所) 経済産業省

(注) オレフィン、アセテートトウを含む。

図-9 日本の化学繊維生産推移



- 合成繊維の生産は同3%増の85万トと2年連続で増加したが、リーマンショックの影響を受けない2007年比では8割強、2001年比では6割強の水準。品目別では、ナイロンFが2%増、アクリルSが7%増だが、ポリエステルはフィラメントが4%減、ステープルが1%減といずれも減少した。
- セルローズ繊維の生産は1%減の17万ト（経産省の統計品目見直しにより、品目別内訳は不明）。

図-10 日本の主要化合繊生産

